

## 平成27年度 第1回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 平成27年7月30日(木)午後2時00分～

開催場所 学校給食センター2階多目的会議室

出席者 (1) 委員：鈴木吉久委員長、関和久副委員長、内本美鈴委員、  
横井隆子委員、飯田博委員、浅海靖弘委員、  
井村真弓委員、小林数夫委員、榎原めぐみ委員  
堀江夏子委員

(2) 事務局：仲田政樹給食管理室長、後野真弥主査

欠席者 畑衛委員、数川沙紀委員

傍聴者 なし

### 1 開 会

### 2 議 題

会議録署名人の選出について

会議録署名人を浅海委員に指名(名簿順)

(1) 平成26年度学校給食センターの運営について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

(2) 平成26年度学校給食センターPFI事業モニタリングについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

浅海委員：「食缶を児童がこぼしたため、予備の食缶を配達」とあるが、普段から予備の食缶を作っているのか。

仲田室長：普段から予備の食缶を1つ用意している。

関副委員長：連絡をすれば学校に持ってきてもらえるのか。

仲田室長：連絡をいただければ学校に届ける。しかし、予備の食缶は1つなので、最初の学校は応えられるが、その後の学校は対応できない。

内本委員：食缶をこぼすことは結構あるのか。

仲田室長：年に数件である。

鈴木委員長：学校では他のクラスに呼びかければ集まるので、対応している。

榎原委員：洗浄業務の「はし、スプーンの汚れ」は、どのような汚れか。

仲田室長：運営企業による洗浄作業の不足により、汚れが残っていたものである。指摘をした後、改善されたので、良の評価となっている。

(3) 平成27年度学校給食センターの運営状況について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

榎原委員 : 食物アレルギー対応について、詳細献立表を配っている児童生徒の中で、自己除去の子と弁当持参の子はどのくらいの割合なのか。

仲田室長 : データを確認し、後日報告する。

関副委員長 : 東部小学校で、現在除去食対応を行っている。初めは不安があったが、スムーズに提供できている。同じく除去食対応をしている鎌ヶ谷小学校も、スムーズに提供できていると聞いている。

(4) 平成27年度第1四半期PFI事業モニタリングについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

内本委員 : 「建築物保守管理業務」の「修繕・更新業務」の評価が「可」となっているのはどうしてか。

仲田室長 : 修繕・更新業務については、実施されているが、完了報告がなかったためである。完了報告を含めての業務だと考えていることから「可」と評価した。

(5) その他

①小・中学校における除去食の試食について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

②残食率低下への取り組み(残食率が少ないクラスへの手紙)

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

鈴木委員長 : この取り組みは、残食を少なくする方法の1つである。他に、良い案があれば、この会でも出していただけたらと思うので、お願いしたい。

3 閉 会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成27年 9月 18日

署名人 浅海 靖弘

署名人 堀江 夏子